



**安齋正弘**  
福島県生まれ。木耐協設立当初から技術顧問として組合員の指導や技術開発を行う。2007年国土交通大臣表彰。趣味は社交ダンス

◎今号のテーマ

## 一般診断法

## 「保有する耐力」に

## ついての考察

### 「2012年改訂版 木造住宅の

### 耐震診断と補強方法」の

### 質問・回答集の確認

2週続きで80km超の休日自転車乗りを達成。なにせ6段ギアなので、競輪選手並みの21段には太刀打ちできない。帰りの「ラクチン」を期待して北風に向かって北上。めっきり数が少なくなった、路面を横切る毛虫やのたうち回る「ミミズ」を踏まないように注意しつつ走る。おんぶバツ達もまだ少々逃げ回る。(来週はもういまいナ。) : オット危ない! 今度は犬の糞だ! お陰様で、「坐骨神経痛」の痛みや痺れも軽減。乗換駅でEVを探する必要もなくなり、むしろ進んで階段を使うこの頃です。

さあ、今月もこの回答集をめくり、内容・趣旨を確認し日々の実務に活かして参りましょう。

日本建築防災協会に掲載されている文章は、下記ホームページアドレスから直接ご覧ください。

(注:紙面の都合HPに掲載されている文章から、趣旨を外さない程度に表現を変えています。)

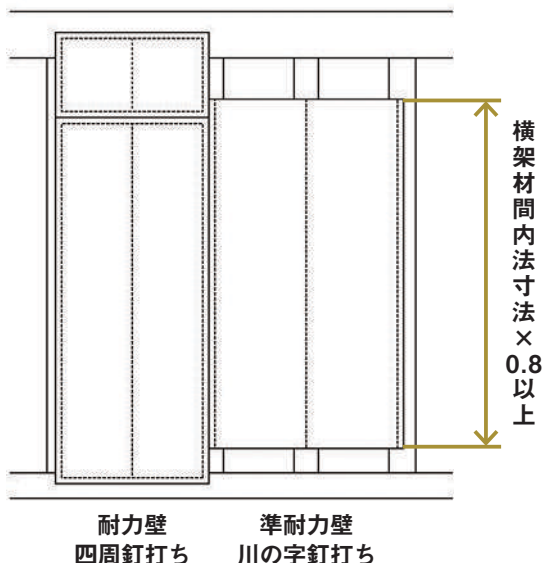
<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wquest.html>

## 「準耐力壁仕様」とは Q55 どのような仕様ですか?

**A** 「住宅の品質確保の促進に関する法律(品確法)」に基づく【評価基準】(平成13年国交省告示第1347号)の「第5の1-1の(3)のホの①の表1」で定義されている仕様を指しています。

### 考察

という訳なので、これらを図示して見ましょう。準耐力壁としての定義は「川の字釘打ち」で「面材高さが横架材間内法寸法の80%以上」とされています。



## 浴室などで腰壁が Q54 RC造やCB造(の上)にある 壁の耐力は評価できるか?

**A** 上部の壁がその性能を発揮する前に腰壁が壊れないと判断できれば評価して構わない。このときの上部の壁の耐力については実際に応じ危険側とならないよう適切に判断して下さい。

### 考察

上部の壁についてはQ53と同じようですので、そちらを参考にして下さい。Q53もQ54も同じようなことですが、面材でなく、筋かいの場合では筋かいの傾きがゆるくなる分、水平方向分力の割合が高まるために柱ホゾの「せん断破壊」や土台・横架材の「材端部破壊」を引き起こす危険も増すので実務的には要注意です。下部腰壁部分についてはRCなら問題なく、CBのときは「重量ブロックで縦筋有り」位までは評価可でしょうか。鉄筋無しのブロックでは「目地モルタル」の劣化から耐力が期待できない危惧がありますので、慎重に。特に補助金案件の場合は、評価方法について自治体への事前確認をしていただいた方が良いでしょう。